

暴走政治  
ストップ!

原発ゼロへ!  
再稼働ストップ

# くらしの目線で市政を変える

市議会へ送っていただき、4期16年、みなさんの声を議会に届け続けてきました。

私の政治信条は、弱い者いじめや道理に合わないことは許さず、「誰もが人間らしく生きる権利を保障できる社会」をつくることです。

憲法の解釈を変えるだけで集団的自衛権の行使を可能にするという、安倍内閣の暴走を許さないためにも、みなさんと力をあわせて頑張ります。



# 西野 さち子

市会 日本共産党  
市会議員

profile: 市会議員4期。醍醐9条の会世話人。市会厚生委員会委員長、人権擁護委員、都市計画審議会委員など歴任。春日野在住。

## みなさんの署名の力で願い実現!!

### 市営住宅風呂がま 京都市の責任で取り替え

2004年10月に中山団地から、2008年5月には醍醐地域から「畳・風呂がまの取り換えは京都市の責任で」との多くの署名と請願が出されました。

議会のたびごとに京都市を追及。神戸市や横浜市では行政の責任で行っていることも示して実現を迫りました。

自民・公明・民主・みんな・京都党など「オール与党」は「入居の時にわかってるはず」「京都市は無理と言ってるから審議未了に」などと請願を、何度も否決・継続審議に。しかし、粘り強い運動と議会での追及が京都市を動かし、

2013年4月、ついに願いが実現。住民のみなさんから大変喜ばれています。



## 住民パワーで毎年20億円のむだ遣いがストップ



### 焼却灰溶融施設を中止に追い込む!!

ごみを燃やしてできる灰を、さらに溶かす焼却灰溶融施設計画。2013年8月に京都市から施工業者の住友重機械工業に正式に契約解除が通告されました。

年間20億円の維持費がかかり、大量のCO<sub>2</sub>が発生、試運転からトラブル続きで、市への引き渡しができずにいました。

計画発表直後からこの問題を追及。今後は、溶融計画の中止といっそうのごみ減量に向けて市民の皆さんとともに頑張る決意です。



● 桃山東学区の住民から「六地蔵の王将駐車場に続く坂道が急こう配で怖い。手すりがないと怖い」との声が寄せられました。土木事務所に要望を届け、実現しました。



● 池田東学区で、歩行者側と自転車側の双方から「狭い歩道で自転車とすれ違うのが怖い」「並木の根があり、走りにくい」との声が寄せられました。山科署などに要望し、新奈良街道に自転車専用道が完成し、歩道も整備されました。



## 2013年小栗栖 水害の復旧を!! 生活保障を!!

2013年9月の小栗栖の浸水被害。いち早く現場に駆けつけ、地域の人たちと一緒に泥をかき出し、青空相談会も開催しました。議会でも追及を重ね、行政の責任を認めさせて補償実現に道を開きました。

桃山地域も浸水被害のおそれがあり、早急な対策が求められています。